

天満橋駅(京阪本線・中之島線) なにわ八百八橋・中之島橋歩き(東側)

天満橋駅(地下鉄谷町線) 大江橋駅(京阪中之島線)
淀屋橋駅(地下鉄御堂筋線・京阪本線)

「大阪あそ歩マップ集」
その1 No.009



京阪・地下鉄天満橋駅

①天満橋

天満天神社(大阪天満宮)が管理するので、天満橋と呼ばれるようになったになりました。天神橋、難波橋とともに浪華三大橋のひとつです。

②八軒家浜

古くから大阪と京都をつなぐ舟運の要だった八軒家浜が、船着場や遊歩道が整備され、水辺を楽しむスポットになりました。

③天神橋

堂島川と土佐堀川をまたぐアーチ橋。文禄3年(1594)に初めて架けられたという記録があります。天満天神社が管理するので、天神橋と呼ばれるようになりました。

④花外楼(大阪会議開催の地)

明治8年(1875)、混迷する政局をめぐって政府の大久保利通、伊藤博文、井上馨が下野していた木戸孝允、板垣退助と緊急の大阪会議を開いた場所です。会議の場である老舗料亭(天保年間開業)は、会議成功の記念に木戸孝允が揮毫した「花外楼」に改名しました。



⑤難波橋

奈良時代に行基が架橋したといわれています。欄干や照明灯にデザインが凝らされ、橋の四隅には彫刻家・岡田均一作の阿吶のライオン像が鎮座しており、「ライオン橋」とも呼ばれています。現在の難波橋は、大正4年(1915)に堺筋の市電開通にともない架け替えられました。

⑥中之島バラ園

東西約500メートルにわたって、3700株のバラが植えられています。

⑦大阪市中央公会堂

明治44年(1911)、株式仲買人・岩本栄之助の寄付100万円で建設が始まりました。竣工は大正7年(1918)。しかし、岩本は株取引に失敗し、公会堂の完成を見ることなく自殺しました。大正時代のネオ・ルネッサンス様式で、設計原案は岡田信一郎、実施設計は辰野金吾。重要文化財。



⑧鉦流橋

鉦流橋は、天神祭の鉦流神事がこの橋のたもとで行われることからその名がつけました。現在も橋のたもとで神事が行われます。

⑨水晶橋

本来は、堂島川の可動堰として造られました。夜にはライトアップされ、八角形の照明灯が水面に映ると水晶のようにみえます。

⑩大江橋

大江橋は、元禄期の堂島開発によって架けられました。現在の橋は御堂筋拡幅時に架けられ、デザインは公募で選ばれました。重要文化財。

京阪大江橋駅

